

# 城ヶ崎海岸の岩場利用にあたって

伊豆・城ヶ崎海岸でクライミングを行うにあたっては、以下の文をよく読み、内容を理解した上で、注意点を守り、十分な安全対策を行って利用して下さい。

## [ボルトおよび終了点スリング類の撤去]

2009年、10月23日、30日に以下のエリアのボルトおよび終了点のスリング類を撤去いたしました。

### <八幡野港北の磯>

「SHONAN ルート44」「SHONAN ルート36」「スコール」

### <シーサイドエリア(犬おとし)>

「下降地点の残置スリングおよびフィックスロープ」「サンダーロード終了点残置スリング」

### <ファミリーエリア(橋立の吊り橋下)>

「ボトムス・アップ」「ハング BTC」「ミッキー」「シュガー」「舞」「彩」「フライング・チャイルド」「チーちゃんがんばれ」「デルトイド(終了点)」

### <門脇南の磯>

「終了点残置スリング」

## 注意事項

- ・ボルトを撤去したルートはリードによるトライができません。登る前によく確認して下さい。
- ・新たなボルトの設置は、城ヶ崎海岸全域で原則的に禁止です。また、リボルト等も同様です。
- ・終了点は立木などを使い、十分な安全確認の下で行ってください。
- ・スリングなどによる終了点の残置およびフィックスロープの残置は行わないで下さい。

## [情報について]

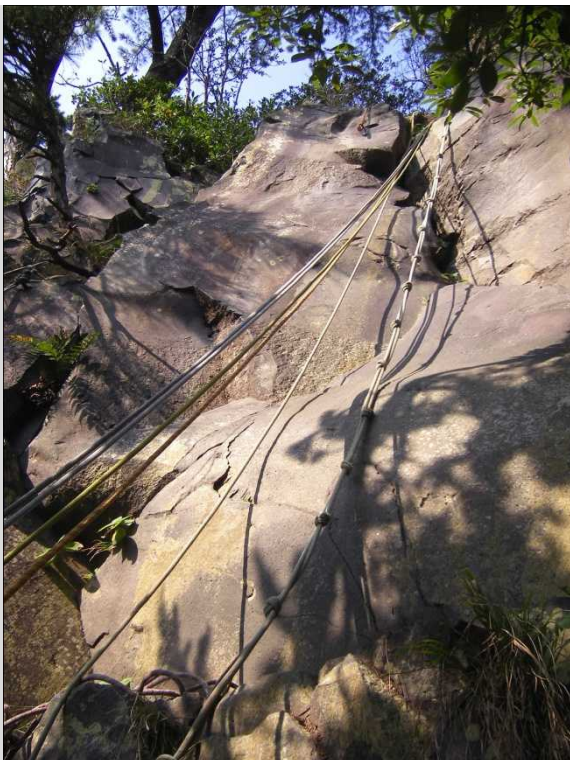
各エリアを訪れる場合には、事前にそのエリアのアクセスに関する情報収集に努めてください。トポやガイドブックにも、アクセスに関して情報がありますが、最新のものとに限らず、状況が変わっているケースも多くあります。JFAのウェブサイトや、各エリアに関するウェブサイトなどを確認し、最新の情報を得るようにしてください。

## [シーサイド利用にあたって]

シーサイドエリア下降点にあった残置フィクスロープはすべて撤去いたしました。このため、このエリアにアクセスするためには、自分のロープによる下降および登山が必要になります。

### 注意事項

- ・新たな残置ロープは設置しないで下さい。
- ・当日の帰りに利用するためであっても、ロープのフィクスはしないで下さい。
- ・エリアから遊歩道に上がるためには、5.7 程度のリードが必要になります。これを十分な余裕をもって行える技術のない場合は、利用をご遠慮ください。エリアから帰ることができなくなります。
- ・上記の理由により、単身での利用はしないで下さい。
- ・セカンドをビレイする場合、トップは確実なセルフビレイをとって行って下さい。
- ・セカンド以降は、通常のフォローもしくは登高器を利用し、ロープを掴んで登る、いわゆる“ゴボウ”と呼ばれる方法はしないで下さい。
- ・先行するグループが登山返しをしている間は、真下には近づかず、必ず少し離れた場所で待って下さい。
- ・ハイシーズンには帰りに登山返し地点が渋滞することが予想されます。暗くなり視界が悪くなると危険性が高くなりますので、余裕を持った行動を心がけて下さい。
- ・次のグループが待っているような場合は、先行するグループの最後の方が後のグループのロープをバックロープとして登山、フィクスする、あるいは後のグループの最初の方をビレイするなど、協力してスムーズに登山返しができるようお願いいたします。



残置ロープ撤去前の下降点



現在の下降点

## [自己責任および安全対策]

### <自己責任の原則をご理解下さい>

クライミングは、危険を伴うスポーツです。例え「ルール」を守っていても時として最悪の結果を招くことがあります。行動の結果が予測できない人や、予測できても、自分には受け入れられないと考える人は、クライミングをやるべきではありません。同様に、完全な安全を求める人は、クライミングを行うべきではありません。もし、ホールドが欠けたら何が起るのか、ここで落ちると何が起るのか、など自分自身によるチェックと確認をすることが重要です。危険認識または将来の予測能力が欠けているクライマーは、その能力のあるクライマーに比べて、より重大な損害を被る傾向と事故後に他のクライマー（ビレイヤー）または関係者より深刻なトラブルを巻き起こす傾向があります。何かあった場合に起こりえる事態を自分が受け入れるかどうかの判断を常に行う必要があります。クライミングは“その危険を了承したものだけが行うことのできる”スポーツです。

### <上級者向けのエリアです>

城ヶ崎海岸の岩場は、プロテクション技術や終了点の設置技術、危険箇所や状況の判断など、登ること以外にも様々な技術を必要とするエリアであり、上級者向けのエリアです。初心者のみでの利用は大変危険ですので、上級者のみ、もしくは上級者が同伴の上、ご利用下さい。また、下降や登高、セルフビレイなど、必要とされる安全技術に関する確認・学習を、できる限りエリアに来る前に行って下さい。

### <支点、落石、浮き石などに注意して下さい>

回収不能となり残置されているナチュラルプロテクションやカラビナは、雨や潮風の影響により劣化し、著しく強度が低下している可能性があります。過去にもそうした支点に加重して外れた事故などがありますので、絶対に使用しないで下さい。また、つり橋、手すり等を支点にしないで下さい。

エリアによっては、前は大丈夫だった岩が浮いた状態になることがあります。浮いていそうな岩は使わず、また、岩の上では落石を起こさないように注意して下さい。こうした事故から身を守るために、できる限りヘルメットの着用を心がけて下さい。

## [エリアの名称について]

「ファミリー」「シーサイド」といった名称は、クライマーによる俗称であり、正式な名称ではありません。このため、地元とのコミュニケーションや事故の救助要請などの場合に障害が生じます。できる限り以下の名称を把握して下さい。

- ・「シーサイドエリア」 「犬おとし」
- ・「ファミリーエリア」 「橋立の吊り橋下」
- ・「オーシャンロック」 「大島ヶ根」

## [利用にあたってのマナー]

### < 国立公園 >

城ヶ崎海岸は、環境省が管轄する「富士箱根伊豆国立公園」に指定されています。国立公園は、その重要度に  
応じていくつかの区分があり、それぞれに法律や条例などによる規制があります。こうした法律や条例を理解し、  
その規制を遵守して利用して下さい。

- ・樹木の伐採や焚火、火器の使用をしない
- ・その他、自然の形状を著しく変化させるような行為をしない
- ・ゴミは必ずすべて持ち帰る
- ・動物、植物、鉱物等の採取をしない

### < 駐車 >

必ず有料・無料の駐車場を利用し、不法駐車や路肩駐車は絶対にしないで下さい。また、原則的に車中  
泊はできません。橋立の無料駐車場が週末はクライマーの車で満杯になってしまうことが、地元の印象を悪くして  
いるようですので、週末に関してはなるべく有料駐車場(500円)を利用して下さい。もしくは複数人で乗り合わせ  
たり、公共交通機関を利用するなどの工夫をして下さい。

### < トイレ >

用便はできる限り事前に済ませ、また現地でも可能な限りトイレを利用して下さい。やむを得ない場合でも適切  
に処理し、遊歩道脇などで用をたしたりはしないで下さい。また、簡易トイレの携帯なども検討して下さい。

### < 観光客への配慮 >

城ヶ崎海岸は、全体が景勝地であり、週末には多くの観光客で賑わいます。エリアによっては、観光客からとて  
も目立つ場所もありますので、奇声を上げたりなどの派手な行動は慎み、周りの人に十分配慮して下さい。

### < 地元への配慮 >

クライマーのマナーについては、地元から一定の評価をいただいておりますが、必ずしもクライマーに好意的な人ば  
かりではありません。地元の人には挨拶をするなどをして、コミュニケーションをとり、駐車や行き先などで不審に  
思われるようなことのないように配慮して下さい。また、地元の宿泊施設、商店、飲食店などを積極的に利用して  
下さい。

城ヶ崎の岩場を今後も利用できるようにしていくためには、クライマー一人一人のルールやマナーの遵守と  
十分な安全対策が必要です。貴重なエリアを保全していくために、皆様のご協力をお願い致します。